



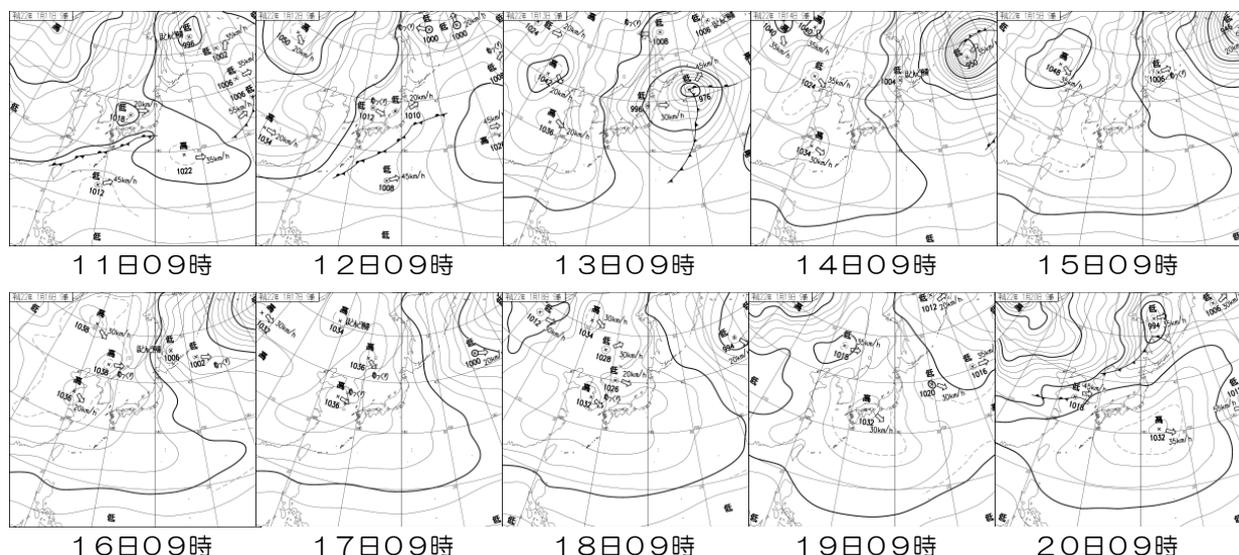
2010年1月25日 青森地方气象台発行

【1月中旬の気象経過】

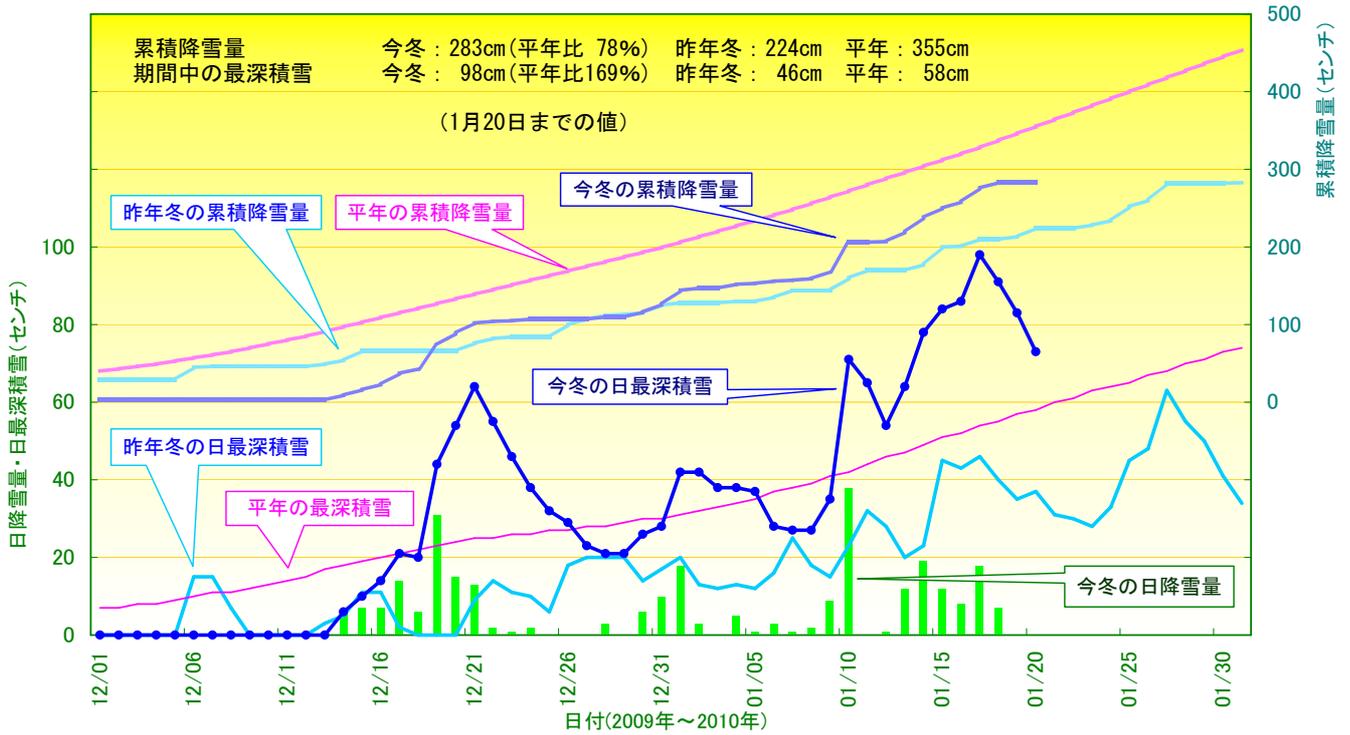
〈概況〉 この期間、13日に低気圧が東北地方を通過し、16日にかけて上空約5000メートルに氷点下40度前後の強い寒気が入り冬型の気圧配置が強まった。17日にかけて降雪量が多くなり、特に13日には八戸で降雪の深さの日合計が29センチの大雪を観測した。また、青森では17日の日最深積雪が98センチを観測した。平均気温はいずれも平年並だった、降水量は八戸でかなり多く、青森・むつで多く、深浦で平年並だった。日照時間は青森・深浦・八戸で少なく、むつでかなり少なかった。

〈日々の気圧配置〉

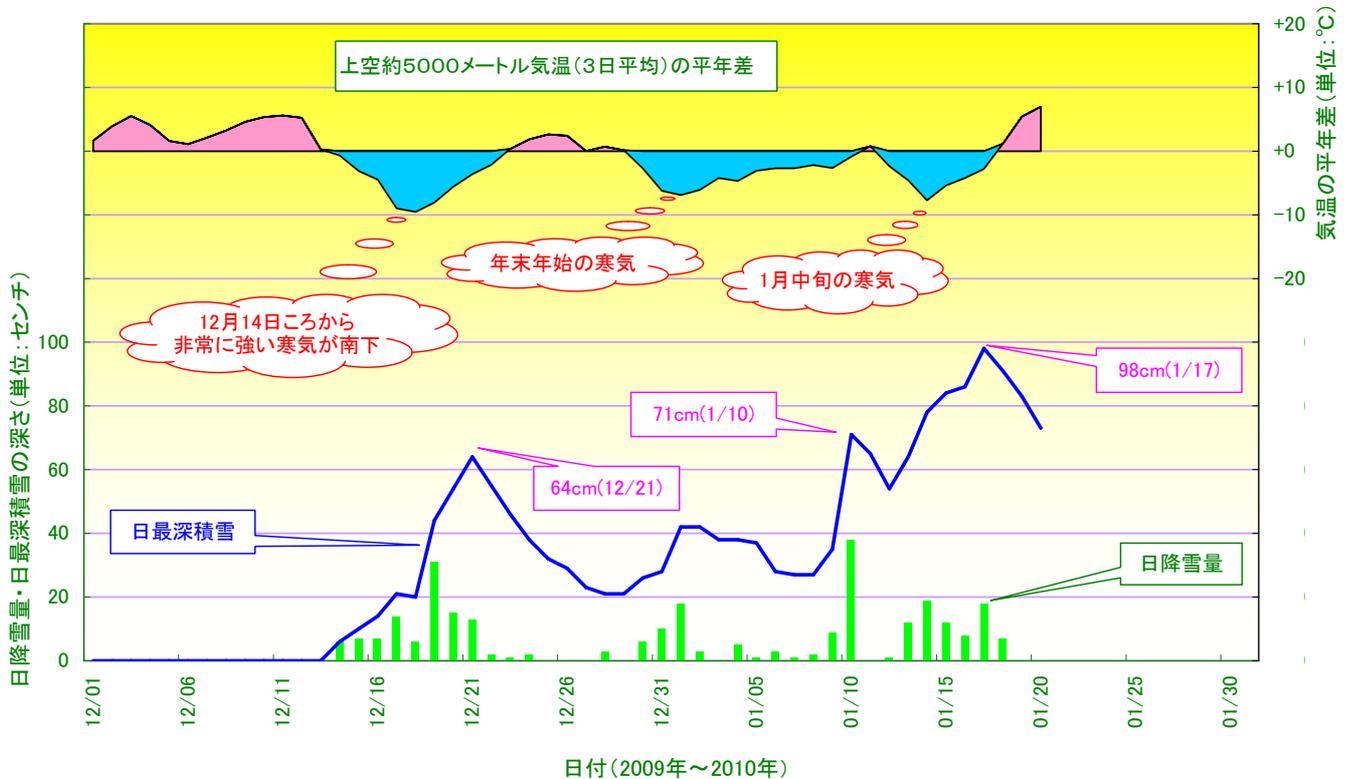
- 11日：北日本は弱い冬型の気圧配置となった。また、山陰沖に低気圧があって東に進んだ。
- 12日：日本海西部に低気圧があってほとんど停滞した。また、日本の南海上に前線があり停滞した。
- 13日：日本の東に発達中の低気圧があって北東に進んだ。また、秋田沖に低気圧があって東に進んだ。
- 14日：本州付近は強い冬型の気圧配置となった。
- 15日：北日本は引き続き強い冬型の気圧配置となった。
- 16日：北日本は引き続き強い冬型の気圧配置となった。
- 17日：北日本は冬型の気圧配置が次第に弱まった。
- 18日：北日本は弱い冬型の気圧配置となった。また、日本海西部に低気圧があって東に進んだ。
- 19日：西日本に中心を持つ高気圧に日本付近は覆われた。
- 20日：サハリン付近の低気圧からのびる寒冷前線が日本海北部にあって南下した。



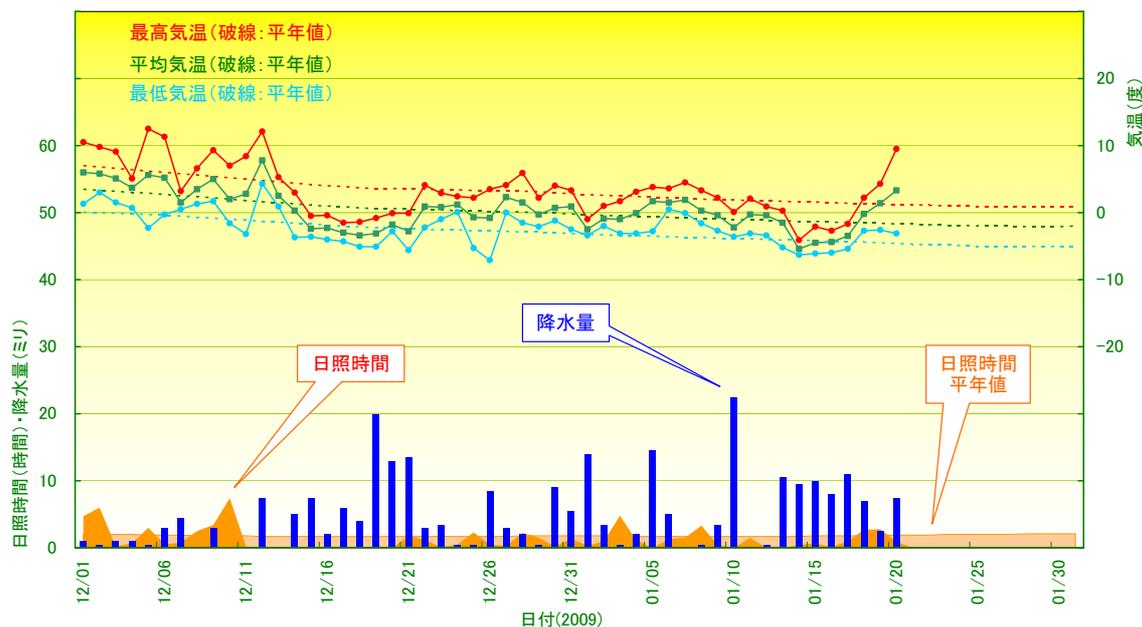
【12月1日からの雪の経過〔青森〕】



【上空の気温と青森の降雪、積雪】



【12月1日からの気象経過〔青森〕】



【編集後記】

年末の寒波以来、上空約5000mの気温は平年より低い状態が続き、17日には青森で最深積雪が98cmになったほか、日最低気温がむつで -15.2°C 、十和田で -14.9°C など、数地点で -10°C 以下まで下がり、県内全般に冷え込みがきつくなりました。

中旬後半になって、上空の気温は平年より高くなり冬型の気圧配置もゆるみ、20日には、日最高気温が弘前で 10.7°C 、鱒ヶ沢で 10.6°C など、 10°C を超える地点がありました。当日は全国的に気温が高くなり、最高気温の記録更新や沖縄での夏日のニュースが流れたので、覚えている人もいるでしょう。青森県内でも、弘前、今別では1月として2番目に高い気温となったほか、各地で3月下旬から4月上旬並みの気温となりました。

しかしこの日の県内は、日中も気圧の谷の影響で雲が多く、雨が降っている所もあったため、あまり暖かさを実感することがなかったかも知れません。私たちは、ともすれば気温が高ければ暖かいと単純に言ってしまうがちですが、人が感じる暖かさや寒さは、気温だけでなく、風や日差し、湿度などが複雑に影響するので、気をつけるようにしたいと思います。

春はまだ先ですが、話題でとりあげた南の島の様子を想像しながら、いましばらく寒さと向き合っていきましょう。

(雲流子)



国土交通省

国土交通省 気象庁 青森地方気象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁

気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp>
青森地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/aomori/>